

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 金沢市立押野小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒921-8064
石川県金沢市八日市1丁目176番地

E-mail oshino-e@kanazawa-city.ed.jp

Website http://www.kanazawa-city.ed.jp/oshino-e/

児童生徒数 男子 252名 女子 262名 合計 514名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

〔はじめに〕

本校は、金沢市の西南部地区にあり、野々市市と隣接している。創立 140 年を過ぎ、全校児童数は 512 名、教職員は、約 40 名である。

学校のすぐそばには JR 北陸線が通り、その線路沿いに工場、住宅が建ち並ぶ校区である。校区の歴史を紐解くと農業・酪農を中心とした町から昭和 40 年頃を境に急速に田畑が埋め立てられ、住宅が次々と建てられてきている。多くの人の思いが交錯する中で、今の校区が形づくられている。

今年度、ユネスコスクールの認定を受けて 7 年目、地域や地域に暮らす人々、共に学ぶ仲間、自分たちの生活を取り巻く人々とのかかわりを主要テーマとして、総合的な学習の時間を中心とした持続発展教育の 実践に取り組んでいる。

つながろう！地域と人と

～地域の「ひと・もの・こと」とのかかわりを通して～

ユネスコスクールとしての取組

「つながろう！地域と人と」を主要テーマに設定し、「地域・文化・伝統」「自然・環境」「福祉・健康、人・自分」を小テーマとして学習をすすめてきた。地域を中心とした中学年での学習を受け、より広い視野で学ぶ高学年へと学びのつながりを意識し、「ひと・もの・こと」とのかかわりを構築できるよう取り組んできた。以下、取組の中心となったものを記述する。

① 「地域・文化・伝統」にかかわって

ア 押野校区の様子、昔の遊び、校区に伝わる昔話や踊り、金沢の歴史や伝統工芸について調べ、金沢のよさに気づき、よりよい町づくりについて考える。(3・4年)
3・4年生では、体育科との関連を図りながら、地域に伝わる踊りである「押野じょんから」を運動会での団体演技に取り入れた。振り付けの意味等、自分たちの考えを地域の方々と交流することを通して、地域の歴史、よさ、人とのかかわりについて考えることができた。その際、3年生は、昨年度に一度学んでいる4年生と共に学ぶ場を設定することで、学びのつながりをつくり出すことができた。

イ 校区に対する関心を高めると共に、市や県の文化や伝統について調べ、郷土を愛する心情を育てると共に郷土に対する誇りをもつ。(3・6年)

3年生は、和菓子づくりや和菓子に携わる職人と出会い、実際に制作体験に取り組む中で、つくる喜びと奥深さを実感することができた。そして、金沢を見つめ直し、金沢のよさを一人一人が自分なりに捉えることができた。

6年生は、金沢の魅力を追究する中で、観光ガイドボランティアの“まいどさん”に出会い、金沢のまちを共に歩きながら、その歴史や特徴、見どころやその由来などを学んだ。資料やインターネット上の情報だけでは分からなかった、歴史的建造物の美しさや町並み、その背景にある歴史や昔の人々の知恵や技術の素晴らしさを実感し、この良さをこれからも守り続けていきたい、多く



の人に知ってもらいたいという思いをもつことができた。また、まいどさんからの話を聞く中で、その苦労や活動に対する姿勢・思いなど、これから金沢で生きる上での人生観も学ぶことができた。

② 「自然・環境」にかかわって

5年生では、学校田の荒起こしから始まった米づくりの体験活動を通して、米づくりに携わる農家の方の苦労や工夫を実感することができた。また、米づくりの先生とのふれ合いや、育てた米を食べることを通して、米一粒に込められた思いを学ぶこともできた。そして、加賀野菜については、一人一課題で調べ、発信方法を工夫し、友だち・保護者の方に伝えることができた。



ものの見方や考え方を広げると共に、金沢の自然や環境についても触れて学ぶ良い機会となった。

③ 「福祉・健康, 国際理解, 人・自分」にかかわって

ア 障がいのある人たちのことを調べ、人と人が共に 生きるための工夫を考える。また、積極的に人と交流し、そのよさを感じとりながら、人とのつながりを大切にす意識を高め、1/2 成人式、卒業に向けた取組などを通して、これまでの自分をふり返ると共にこれからの生き方について考える。(4・6年)



4年生では、いろいろな立場の人(障がいのある方、お年寄りの方)たちのことを調べ、まとめ、互いに交流し合うことで共に生きる価値について考えを広げることができた。1月末には保護者の方々を招き、1/2 成人式を行った。自分の過去から現在について家族とのかかわりをもとに調べ、自分自身をふり返ることができた。また、10年後の自分や夢について思いを巡らせ、想像することを通して、これからの自分のあり方について考えた。ここでは、相手意識を持ってスピーチ原稿をつくり練習したり、どうすれば相手に自分の思いが伝わるか考えたりすることができた。また、1/2 成人式を開催するために、プログラムの作成や場の設定など、自分たちで企画し運営する経験もすることができた。その中で、仲間とのつながりへの価値を見出すことができた。

6年生では、卒業に向けて取組をすすめる中で、自らの成長を支えてくれた人々とのかかわりを見つめ、これからの生き方を再考するきっかけをつくることができた。

これらを通し、共に学ぶ仲間の思いを知り、共に夢に向かって成長する仲間としてのつながりを強くすることができたと考える。加えて、今の自分の存在をこれまでの成長とつなげて考える子の育ちが見られた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）